

2021年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書（最終）

非公開希望	項目	内容
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 マンハイム大学 人文学部
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2021年 9月 6日 ～ 2021年 12月 10日 出国日 2021年 8月 31日 最終帰国日 2021年 12月 14日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく詳細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

（1）留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

①語学力の向上

せっかく現地にいるので、とにかく話す・聞くことを心がけました。渡航直後は生活と言葉に慣れるのに手一杯でしたが、次第に慣れてきました。日常生活を楽しめるようになると、勉強にもより力が入るようになりました。分からないことはすぐ聞き、知らないことはすぐ調べることを意識し、毎日ドイツ語に触れました。

②異文化交流

留学前半はVISUMの集まりに参加したり、寮で知り合った友人と食事に行ったり、積極的に行動しました。ドイツ語を使って、異文化を持つ海外の方と考えや価値観を交換し合える貴重な時間となりました。

しかし、11月に入ると自室に籠る生活になってしまいました。ドイツ語に慣れてきたところで、人と会話する機会が激減したのは大変残念でした。

③旅行

12月にクリスマスマーケット周遊を計画していましたが、コロナウイルスの感染拡大により、気軽に外出もできない世の中になってしまいました。

（2）留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

語学力（語彙力）は、可能な限り伸ばしておきましょう。読む書く話す聞く、全ての場面において、「文法はわかるけど、単語がわからない」という事態が多々発生しました。日本でもドイツのニュースを聞いたり読んだりして、実際に使われているドイツ語に触れておくことをオススメします。YouTube や DW Deutsch lernen を等、ネットの教材を用いて勉強していました。

日本の文化や習慣、歴史、政治、経済等、自国のことを知っておくこと、説明できるようにしておくことも重要だと感じました。正規の学生や留学生の知識の豊富さに驚かされました。何気ない会話の際にもそういった話題が出てくるので、日本について調べまくと良いと思います。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

どの授業もレベルが高く、予習復習は欠かせませんでした。ドイツ語の授業は、各々のレベルに合わせてくれ、大変学びやすい雰囲気でした。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

コロナ禍であったため、週に1~2度しか登校しませんでした。マンハイム城の一部が校舎となっており、外観には圧倒されます。中央駅から近く、建物自体が街のシンボルのような存在だと感じました。校舎内も綺麗で過ごしやすいです。図書館が多く、蔵書数も豊富なので勉強しやすい環境です。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

留学生向けのドイツ語の授業があります。myUniMA という留学生向けのポータルサイト (URL : <https://myunima.uni-mannheim.de/incomings/portal>) から登録が可能です。費用は1授業につき、15ユーロです。約15名の定員があるので、なるべく早く申し込みましょう。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

VISUM (URL : <https://www.visum-mannheim.de/satellite4/>) という国際学生交流協会があります。春学期は、毎週 ZOOM 上で、交換留学生同士が交流できる場を設けてくれました。世界中の学生と母語や郷土料理について語ったり、チーム対抗の謎解きゲームをおこなったりと、オンラインの環境を活かした交流会が開催されました。

秋学期になると対面での活動が行われ、食事会やハイデルベルク旅行、スケート体験等、各国の留学生たちに直接会うことができました。

また、Buddy Program という、マンハイム大学に通うドイツ人学生を紹介してくれるもの

もあります。私は日本語を勉強している男子学生の方を紹介していただき、WhatsApp というアプリを用いて連絡を取り合いました。彼とは、日本のアニメの話で盛り上がりました。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

特にありませんでした。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

観光地というより、地元の方が生活している地域という印象を受けました。周囲に大学や gymnasium が多くあるため、学生街でもあります。特段治安が悪いとは感じませんでした。真夏の夜には公園でスピーカーから爆音の音楽を流し、大騒ぎしている人々を見かけました。海外特有の光景だと思います。

Innenstadt 内のメイン通りは、日が暮れても人通りがありました。念のため、夜遅くに1人で出歩かないようにはしていました。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
Theories of the Digital (6)	
Introduction to German Linguistics (3)	
Theories of Media and Communication Studies (8)	
Historical and current controversies about the German language (3)	
International Culture Studies (5)	
German Film History (3)	
German Language (3)	
German Language (3)	
German Language (3)	

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮 / アパート / ホームステイ / その他 ()

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 400 €、(日本円) 約 55000 円

(3) 食事

食事付き (朝・昼・夕) / 自炊 / その他 ()

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 / 自転車 / バス / 地下鉄 / その他 ()、計 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

Innenstadt の中に寮があったため、大学、ショッピングモール、REWE、dm 等が徒歩 5 分圏内に点在しており、非常に便利でした。どんよりとした冬の気候の中、トラムを待つ必要が皆無だったのは良かったです。

しかしながら、寮の管理が少々杜撰で水が止まったり、洗濯機が使えなかったりしたことが度々ありました。週末に最上階のパーティールームでどんちゃん騒ぎをしていることもあり、耳栓をして寝る日もありました。立地は最高でしたが、周辺環境は微妙です。(個人的には立地の良さに大満足していたので、寮設備や騒音は我慢できました。)

4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 約 110 €、(日本円) 約 15000 円 ←半期

(2) 渡航方法と金額

飛行機 / 船舶 / その他 ()、(日本円) 約 16 万円

(3) 生活費

(現地通貨) 月額・年額 約 600 €、(日本円) 約 75000 円

※ 宿舍費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

インターナショナルキャッシュカード / クレジットカード / 国際ブランドプリペイドカード / 現金 / その他 ()

⇒ その方法についての感想、良かった点・悪かった点

現金に関しては、日用品や食料品の買い出し等、少額の買い物の際に、100 ユーロ紙幣を出すと「細かいお金はないのか」と聞かれるので、予め 100 ユーロ紙幣を両替しておくか、10 ユーロ紙幣や 20 ユーロ紙幣を多めに持って行くことをオススメします。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

航空券 16 万

保険 4 万 (約 4 ヶ月)

5. 保険について

(1) 保険会社名

AOK

(2) 保険料

374,57 € (約4ヶ月分をまとめて先払いしました)

(3) 加入した保険の種類、内容

学生保険

(4) 感想、良かった点・悪かった点

コロナ禍であったため、加入に関する手続きが全てメールで完結しました。渡航前に AOK にマンハイム大学の協定留学生であることを伝え、オンラインで申し込みをしました。渡航後に入金をして、寮に保険証が届きました。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物 / 船便 / SAL 便 / 航空便 / 海外宅配便 / その他 ()

(2) 持って行って良かったと思う物

- ・鶏ガラスープの素
- ・だしパック
- ・マスク

→現地で購入すると高い。

- ・使い捨てカイロ

→冬は朝晩 0°C 前後なので、カイロがあると大変心強いです。

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

- ・スキンケア用品

→日本で愛用していたものだと、ドイツの乾燥に勝てませんでした。こちらのコスメは品質が良く、価格も安いので、現地で調達することをオススメします。私はコスメ巡りが、週末の楽しみでした。

(4) 持って行けば良かったと思う物

- ・サランラップ

→ドイツのラップは品質が悪い。

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

- ・授業
- ・勉強
- ・VISUM のイベント
- ・散歩

(2) 週末

- ・勉強
- ・自室でゴロゴロ
- ・ショッピング
- ・旅行
- ・友人と食事

(11月以降はコロナ感染拡大のため、買い物以外は自室に居ました。)

8. 後輩へのアドバイス等

渡航後1~2ヶ月は緊張の連続でしたが、新しい生活にも必ず慣れてきます。貴重な経験や新たな出会いを積み重ね、最高の留学生活になることを願っています。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。

個人情報是非公開にさせていただきますが、国際センターを通していただければ何でもお答えしますので、どうぞお気軽にご連絡ください。